

【レシピの作成方法】 -アーティチョークのオリーブオイル炒め-

— Wrod2010 —

※事前に写真を用意しておきます。

用意する写真

- ・完成品の大きい写真（なるべく縦長）
- ・途中経過の写真（なるべく横長）

（加工方法は「別紙：レシピの写真の加工方法」を参考に）

※ここで紹介されている操作方法は、Word の設定が既定地の方法で説明しています。

作成の方法

（ページ設定）

- ・下記の設定をします。

用紙サイズ	: A4
印刷の向き	: 縦
余白	: 上下左右 15mm
フッター/ヘッダー	: 0mm
日本語用フォント	: MS UI Gothic
英数字用フォント	: 日本語と同じフォント
フォントサイズ	: 10.5pt
フォントの色	: R 64、G 64、B 64
文字数	: 49 文字
行数	: 52 行

Point

フォントの色の設定は、詳細で！

フォントの色を今回は「RGB」の指定で行います。この指定は、「フォントの色」の▼から、「その他の色」と進み、「ユーザー設定」タブより、指定します。

RGB というのは、色の表現方法の 1 つで「R：赤」「G：緑」「B：青」の三色からなります。それぞれに値を入れ、1 つの色を指定していきます。



(ヘッダー/フッターに背景図形を挿入する)

- ・ヘッダーまたはフッターの編集画面から下の設定をします。
挿入する図形の順番は、「正方形/長方形」→「角丸四角形」です。

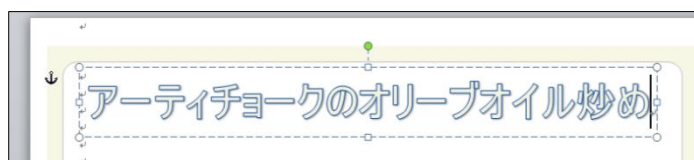
正方形/長方形	: 高さ : 280mm×幅 : 200mm、 塗りつぶしの色 : R 238、G 238、B 204、 枠線なし
図形の配置	: 用紙に合わせて配置、左右中央揃え、上下中央揃え
角丸四角形	: 高さ : 270mm×幅 : 190mm、 塗りつぶしの色 : R 255、G 255、B 255、 枠線の色 : R 127、G 127、B 127、線の太さ : 0.5pt
図形の配置	: 用紙に合わせて配置、左右中央揃え、上下中央揃え

※ヘッダーフッターの編集を閉じ、数行空白行を入れておく。

(タイトルをワードアートで作成する)

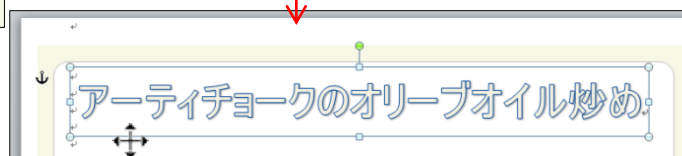
- ・下の操作方法に従って作成します。

1. 1行目にカーソルを立て、「挿入」タブ→「ワードアート」をクリックする。
2. 一覧から、「塗りつぶし-ベージュ、文字2、輪郭-背景2」をクリックする。
3. 「ここに文字を入力」を削除し、「アーティチョークのオリーブオイル炒め」と入力します。
4. 書式変更するために、ワードアート全体を選択します。



カーソルが立っている状態、
または点線枠が表示されている状態は
全体の選択が出来ていません。

点線枠の部分をクリックし、
枠全体が直線で囲まれている状態が
全体の選択が出来ている状態です。



5. 下の書式設定をします。

「ホーム」タブ

「描画ツール」の「書式」タブ

: フォント : HG ゴシック E、フォントサイズ : 28pt

: 文字の輪郭 : 線なし、

塗りつぶしの色 : R 160、G 170、B 72、

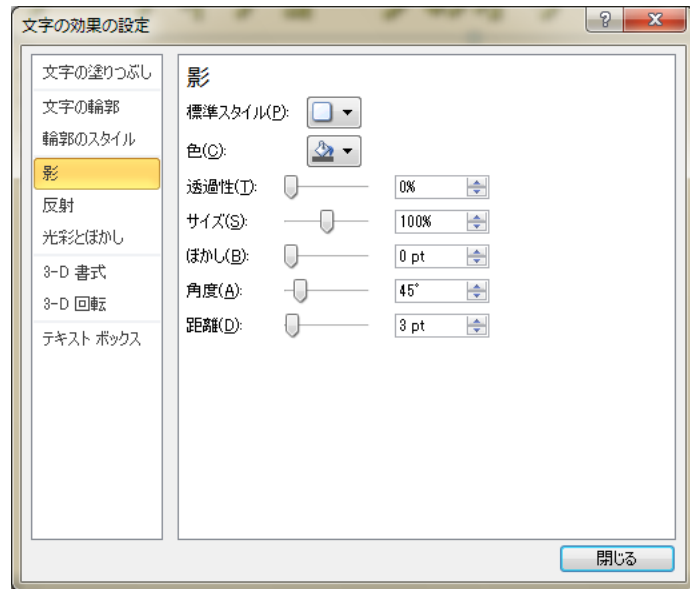
影 : 外側 (オフセット (斜め右下))、

影色 : R 90、G 90、B 90、

透過性 : 0%、

ぼかし : 0%

※影色、透過性、ぼかしは、
影のオプションから右の画面を
表示し、設定します。



(表を挿入し完成写真と説明文、材料を入力する)

・下の指定の表を挿入し書式設定します。

表の挿入 : 3列×10行

列幅 : 1列目 : 約25文字くらいの幅
2列目 : 約44文字くらいの幅

結合 : 1行目の2列目と3列目を結合し、説明文章を入力
(下を参考)

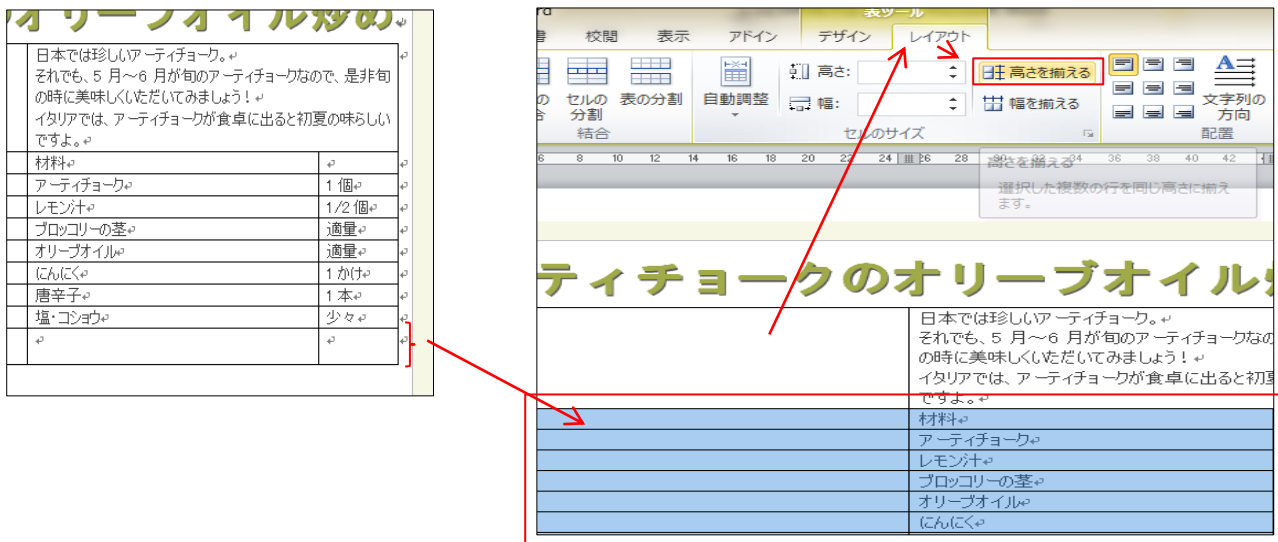
アーティチョークのオリーブオイル炒め		

日本では珍しいアーティチョーク。それでも、5月～6月が旬のアーティチョークなので、是非旬の時に美味しくいただいてみましょう！ イタリアでは、アーティチョークが食卓に出ると初夏の味らしいですよ。
--

材料の入力 : 2列目の2行目から材料などを入力

ですよ。	
材料	
アーティチョーク	1個
レモン汁	1/2個
ブロッコリーの茎	適量
オリーブオイル	適量
にんにく	1かけ
唐辛子	1本
塩・コショウ	少々

行の高さ : 2行目から9行目まで少し広げる
 (表の一番下の横線を少し下に下げ広げ、
 その後で2行目から9行目まで選択し、
 「レイアウト」→「高さを揃える」をクリックします。)



文字配置 : 2列目 : 両端揃え (中央)、3列目 : 右揃え (中央)
 表全体の罫線 : 線なしにした後、2列目の3行目から9行目まで罫線あり、
 線の色 : R 128、G 128、B 128、
 線の太さ : 0.5pt
 材料の文字 : フォントサイズ : 14pt、太字、
 フォントの色 : R 160、G 170、B 72

日本では珍しいアーティチョーク。 それでも、5月～6月が旬のアーティチョークなので、是非旬の時に美味しくいただいてみましょう！ イタリアでは、アーティチョークが食卓に出ると初夏の味らしいですよ。	
材料	
アーティチョーク	1個
レモン汁	1/2個
ブロッコリーの茎	適量
オリーブオイル	適量
にんにく	1かけ
唐辛子	1本
塩・コショウ	少々

写真挿入 : 1 列目を全て結合し、出来上がりの写真を挿入、中央揃え

アーティチョークのオリーブオイル炒め



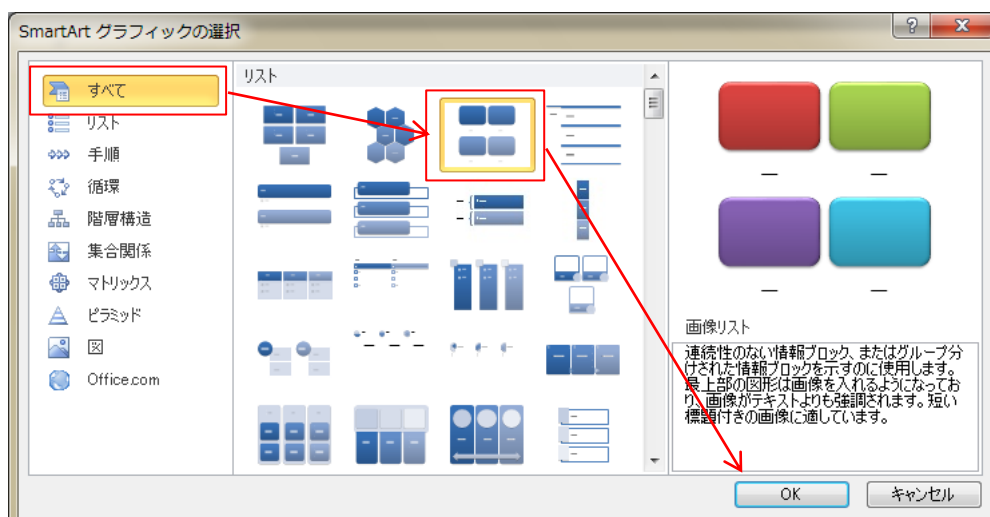
日本では珍しいアーティチョーク。
それでも、5月～6月が旬のアーティチョークなので、是非旬の時に美味しくいただいてみましょう！
イタリアでは、アーティチョークが食卓に出ると初夏の味らしいですよ。

材料	
アーティチョーク	1 個
レモン汁	1/2 個
ブロッコリーの茎	適量
オリーブオイル	適量
にんにく	1 かけ
唐辛子	1 本
塩・コショウ	少々

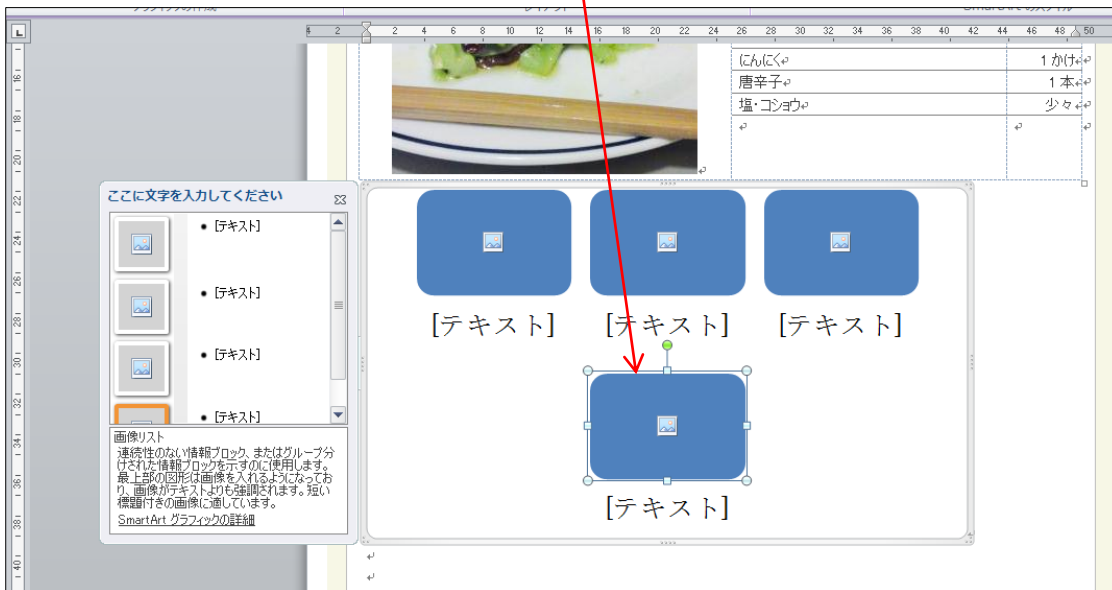
(SmartArt で作り方の流れを作る)

・下の操作方法に従って作成します。

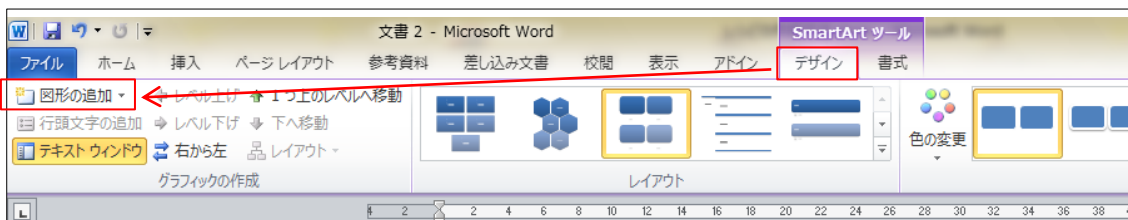
1. SmartArt を挿入したいところにカーソルを立てる。
2. 「挿入」タブ→「SmartArt」をクリックする。
3. SmartArt の一覧が表示され、すべての分類が表示されている状態から、「画像リスト」をクリックし、「OK」をクリックする。



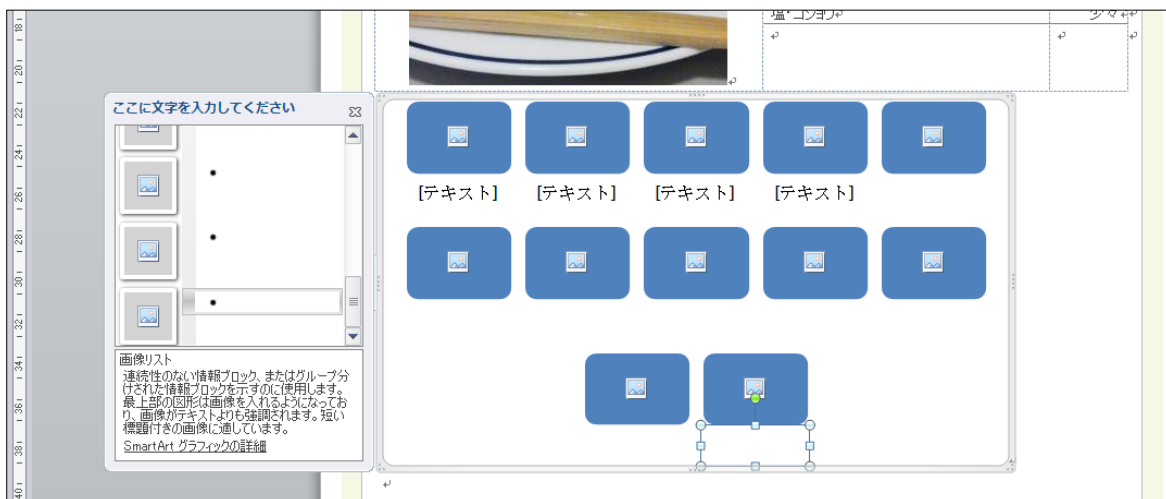
4. SmartArt が挿入されたら、足りない図形を追加します。
一番最後から挿入したいので、最後の図形をクリックします。



5. 「SmartArt ツール」の、「デザイン」タブをクリックし、「図形の追加」をクリックします。

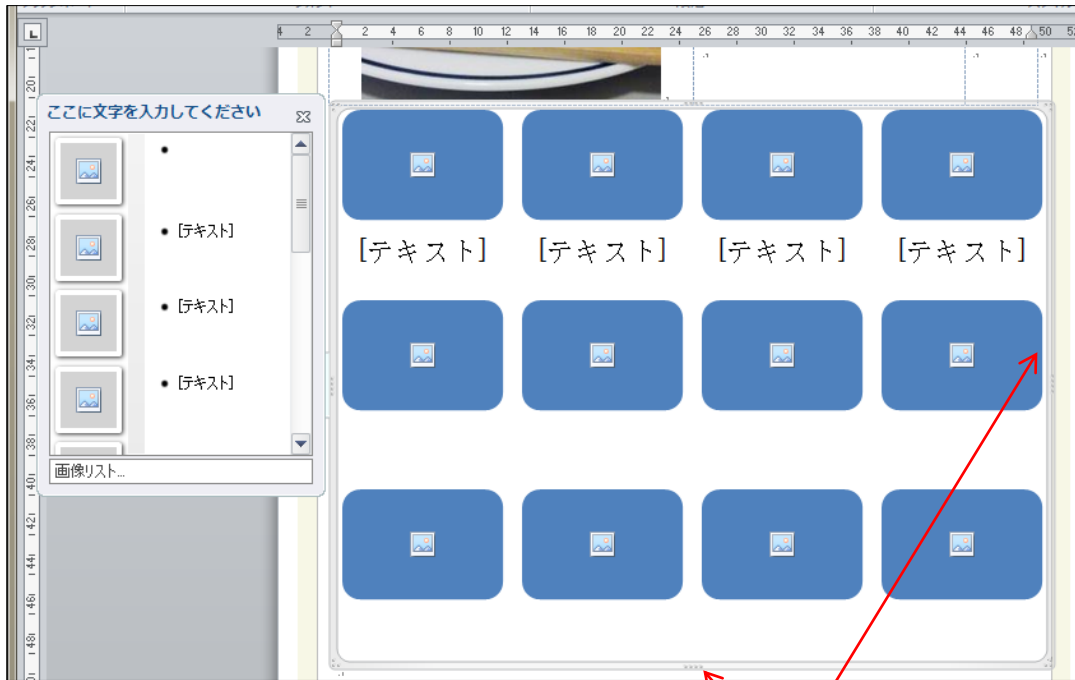


「図形の追加」をクリックし、全部で 12 個の図形が挿入されるようにします。




6. SmartArt 全体を選択し、文字列の折り返しを前面にします。
SmartArt の枠の部分をクリックし、全体を選択します。
7. 「SmartArt ツール」の「書式」タブをクリックし、「文字列の折り返し」をクリックし、「全面」をクリックします。

8. SmartArt 全体のサイズを整え下のよう、1 行に 4 つの図形が並ぶようにします。



サイズ変更は、両側面、上下の中央あたりに、マウスを合わせると両矢印になるので、ドラッグをして調整する

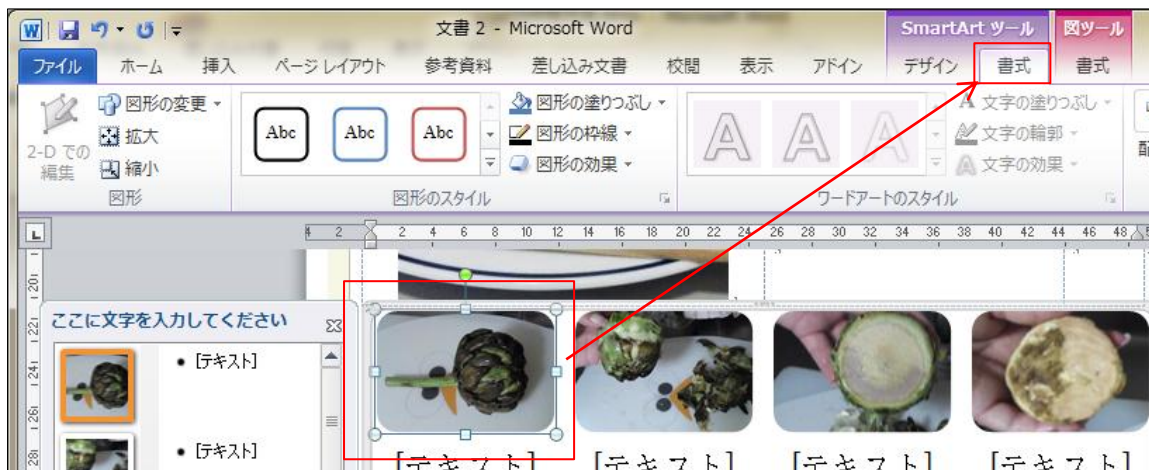
9. それぞれの図形に写真を挿入する。図形の中央にある、  をクリックします。

10. 挿入したい写真をクリックし、「挿入」をクリックします。

11. 7、8、の操作を繰り返し、写真を 9 枚挿入します。



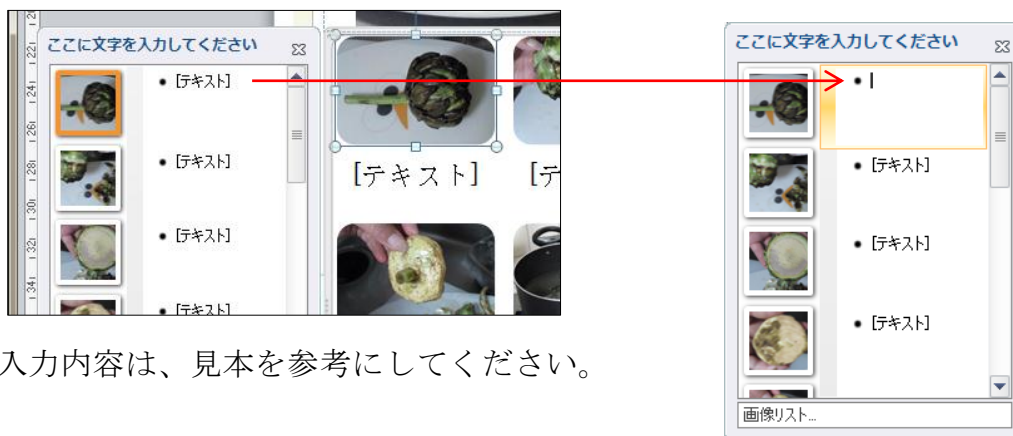
- 1 2. 1つ目の図形のみ、形を変更するので、1つ目の図形をクリックし、「SmartArt ツール」の「書式」タブをクリックします。



- 1 3. 「図形の変更」をクリックし、一覧から「円/楕円」をクリックします。



- 1 4. テキストウィンドウを使い、各画像にあった、文章を入力します。テキストウィンドウの1つ目の「・ [テキスト]」と表示されている部分をクリックすると、カーソルが立つので文字入力を行います。



※入力内容は、見本を参考にしてください。

1 5. 画像を入れなかった3つの図形を選択し、「塗りつぶしなし」にします。



1 6. SmartArt 全体を選択し、文字の書式設定をします。
SmartArt の枠の部分をクリックし、全体を選択します。



1 7. 「ホーム」タブから下の設定をします。

フォントサイズ：10.5pt
文字の配置：左揃え

1 8. 文章の最後尾に「コツ・ポイント」とその文章を入力します。

1 9. 「コツ・ポイント」は、「材料」と同じ書式設定をします。(書式のコピーをしてください)

※最後に、「コツ・ポイント」が入りきらない場合は、「SmartArt」のサイズを少し小さくしてください。